

春野菜の生産（生育）・出荷状況について

（全国農業協同組合連合会）

1. 平成24年産春キャベツ(4月～6月)の出荷見通し

(1) 作付面積、生育状況の概要

平成24年3月現在

	当初計画(23年9月作成)				3月現在の見通し		生育ステージ			今年の出荷見通し	
	面積		出荷量		出荷量					播種時期	定植時期
	計画	前年	計画	前年	計画	前年					
	(ha)	実績比	(トン)	実績比	(トン)	実績比					
全農千葉 県本部	1,060	100%	37,950	106%	36,000	101%	・春系: 10/中～12/上	・春系: 11/下～3/上	・春系: 3/下～6/上	3月以降の天候が順調であれば、生育回復し、平年並みの出荷となる見込み。 ・出荷開始時期:4/上から。 ・出荷最盛期:5/中～6/中。	作付面積が微増となるため、前年をやや上回る出荷の見込み。
全農神奈川 県本部	715	96%	36,748	105%	36,757	105%	・春系: 10/中～	・春系: 11/中～2/中	・春系: 3/中～6/下	・出荷開始時期:平年比で10日程度遅れて、3/下頃からとなる見通し。 ・出荷最盛期:平年並みの気候であれば、平年並に4/下～5/上となる見込み。	3月分の生育遅れにより、4月以降へ順次ずれ込んでいき、全体量としては、前年・直近3カ年を上回る見通し。
愛知県経済 連	580	88%	27,550	88%	26,200	94%	・冬系: 8/下 ・春系: 9/下～10/末 ・夏系: 10/下～1/上	・冬系: 9/下 ・春系: 10/下～12/上 ・夏系: 11/下～2/下	・冬系: 3月～4月 ・春系: 3/下～4/下 ・夏系: 5/上～6/下	冬・春系は、1月の低温、干ばつにより生育が遅れている。 今後は3月の天気はどうなるかで、4月の出荷量が大きく変化する見込み。	特に5～6月の出荷量が増加する見込み。
その他	1,653	99%	36,750	113%							
対象県 共販計	4,008	97%	138,998	103%							

コメント

作付面積 (3月調査)	<ul style="list-style-type: none"> ・全農千葉 :前年比101% ・全農神奈川:前年比96% ・愛知経済連:前年比90%(前年は3月から4月へ5000t程度ずれ込んだため)。5-6月出荷分に対応する面積は増加している。
生育状況	<ul style="list-style-type: none"> ・全農千葉 :1/下以降の多雨・降雪・日照不足による定植作業の遅れ、低温による生育遅れが見られる。 ・全農神奈川:12月以降の低温、干ばつにより生育が遅れている。 ・愛知経済連:・冬・春系は、播種、定植後に台風等に加え、年明けの低温干ばつにより小玉傾向となっているが、3月の天気で回復の可能性。 ・夏系は、1月の低温と干ばつで、播種、定植ともに遅れが見られる。

[第12回野菜需給・価格情報委員会資料]

(2) 主産県の月別出荷見通し

単位:トン

団体名	項目	4月	5月	6月	計
全農千葉県本部	24年見通し ^{注1}	5,500	15,500	15,000	36,000
	前年比	94%	106%	99%	101%
	3ヶ年平均 ^{注2} 比	101%	101%	97%	99%
全農神奈川県本部	24年見通し ^{注1}	17,391	17,167	2,199	36,757
	前年比	114%	101%	77%	105%
	3ヶ年平均 ^{注2} 比	107%	111%	74%	106%
愛知経済連	24年見通し ^{注1}	16,200	6,300	3,700	26,200
	前年比	89%	99%	115%	94%
	3ヶ年平均 ^{注2} 比	114%	113%	112%	114%
計 (上記3団体)	24年見通し ^{注1}	39,091	38,967	20,899	98,957
	前年比	100%	103%	98%	100%
	3ヶ年平均 ^{注2} 比	109%	107%	96%	105%

注1:3月現在の供給計画「対象県共販計」、「対象市場計」の見込み数量。(確定計画は3月末とりまとめ)

注2:平成21年～23年の実績より算出。

コメント

昨年の特徴	・4～5月:冬期の低温による遅れ分の出荷が重なり、出荷量が増加した。
出荷見通し	・4～5月:前年並みとなり、直近3ヵ年平均を上回る見込み。 ・6月:千葉県産のシェアが高くなる時期。前年、直近3ヵ年平均をやや下回る見込み。

2. 平成24年産春だいこん(4月～6月)の作付面積・生育状況の概要

(1) 作付面積、生育状況の概要

平成24年3月現在

	当初計画(23年9月作成)				3月現在の見通し		生育ステージ			今年の出荷見通し	
	面積		出荷量		出荷量					出荷開始時期と出荷最盛期	期間全体を通した出荷見通し
	計画 (ha)	前年 実績比	計画 (トン)	前年 実績比	計画 (トン)	前年 実績比	播種時期	定植時期	出荷時期		
全農千葉 県本部	715	100%	30,000	100%	29,000	97%	・春系: 11/上～12/上	—	・春系: 3月～5月	3月以降の天候が順調であれば、 平年並みの出荷を見込む。 ・出荷開始時期:4/上から。 ・出荷最盛期:4/上～5/下。	直近3ヶ年平均並みの出荷を見込む。
全農長崎 県本部	151	96%	11,350	95%	12,250	103%	11/上～3/上	—	3/上～5/下	今後の天候が回復すれば、 平年並みの出荷を見込む。 ・出荷開始時期:3/上から。 ・出荷最盛期:3/下～4/中。	前年比103%、直近3ヶ年平均 比110%の見込み。
その他	546	100%	25,672	101%							
対象県 共販計	1,412	100%	67,022	99%							

コメント

作付面積 (3月調査)	<ul style="list-style-type: none"> ・全農千葉:前年比101%。 ・全農長崎:前年比102%。
生育状況	<ul style="list-style-type: none"> ・全農千葉:12/中以降の低温および1/下以降の日照不足により生育遅れが見られる。 ・全農長崎:播種開始は例年並み。生育状況については、年明け以降の低温・干ばつにより、若干の遅れが見られる。

[第12回野菜需給・価格情報委員会資料]

(2) 主産県の月別出荷見通し

単位:トン

団体名	項目	4月	5月	6月	計
全農千葉県本部	24年見通し ^{注1}	15,000	11,500	2,500	29,000
	前年比	92%	101%	104%	97%
	3ヶ年平均 ^{注2} 比	98%	103%	97%	100%
全農長崎県本部	24年見通し ^{注1}	6,095	4,955	1,200	12,250
	前年比	108%	91%	146%	103%
	3ヶ年平均 ^{注2} 比	118%	106%	94%	110%
計 (上記2団体)	24年見通し ^{注1}	21,095	16,455	3,700	41,250
	前年比	96%	98%	114%	98%
	3ヶ年平均 ^{注2} 比	103%	104%	96%	103%

注1:3月現在の供給計画「対象県共販計」、「対象市場計」の見込み数量。(確定計画は3月末とりまとめ)

全農長崎県本部の6月については、直近3ヶ年平均並みの数値として仮置きした。

注2:平成21年～23年の実績より算出。

コメント

昨年の特徴	・4～5月:直近3ヶ年で最も多い出荷量となった。
出荷見通し	・4～5月:主産2県の出荷量は、直近3ヶ年平均比で微増を見込む。 ・6月 :青森県産のシェアが高くなる時期。3月上旬時点で残雪多く、播種進んでおらず、平年より1旬程度遅い6/中以降に出荷本格化となる見込み。 全農青森はほぼ前年並みの作付けを見込んでいる。

3. 平成24年産たまねぎ(4月～10月)の作付面積・生育状況の概要

(1) 作付面積、生育状況の概要

平成24年3月現在

	当初計画(23年9月作成)		3月現在の見通し		生育ステージ			今年の出荷見通し			
	面積		出荷量		出荷量		播種時期	定植時期	出荷時期	出荷開始時期と出荷最盛期	期間全体を通した出荷見通し
	計画 (ha)	前年 実績比	計画 (トン)	前年 実績比	計画 (トン)	前年 実績比					
ホクレン	4,232	105%	205,612	121%	161,600	116%	・極早生: 2月 ・早生: 2月 ・中生: 2月 ・晩生: 2月	・極早生: 4/上～5/中 ・早生: 4/上～5/中 ・中生: 4/上～5/中 ・晩生: 4/上～5/中	・極早生: 8月 ・早生: 8/下～11月 ・中生: 11～4月 ・晩生: 11～4月	現在、作業初期のため見通し立たず。	現在、作業初期のため見通し立たず。
JAさが	2,160	100%	91,132	123%	81,573	110%	・極早生: 9/中～ ・早生(マルチ・露地): 9/中～下 ・中晩生: 9/下～	・極早生: 10/下～11/下 ・早生(マルチ・露地): 11/上～12/中 ・中晩生: 12/上～下	・極早生: 3/下～4/上 ・早生(マルチ・露地): 4/中～6/上 ・中晩生: 6/上～	・出荷開始時期: 平年並みに3/下からの見込み。 ・出荷最盛期: 平年並～やや遅く、4/下～5/中の見込み。	総出荷量は、直近3ヶ年平均・前年をやや上回る見込み。ただし、4～6月については下方修正の可能性あり。
全農兵庫 県本部	1,470	100%	47,350	114%	46,200	111%	・早生: 9/下～ ・中生: 9/下～ ・晩生: 9/下～	・早生: 11/上 ・中生: 11/中～12/下 ・晩生: 11/下～12/下	・早生: 5/上～6/上 ・中生: 5/下～10/上 ・晩生: 7/下～3/中	・出荷開始時期: 5/上を見込む。 ・出荷最盛期: 6/中下から。	総出荷量は、直近3ヶ年平均・前年をやや上回る見込み。
その他	2,062	100%	83,935	111%							
対象県 共販計	9,924	102%	428,029	119%							

コメント

作付面積 (3月調査)	<ul style="list-style-type: none"> ・ホクレン : 前年比104%(現在集計中。23年産は雹害等の面積を差し引いて算出している) ・JAさが : 前年比98%。2ヶ年連続で増加していたが、本年は極早生の種子不足で微減となる。 ・全農兵庫: 前年比102%
生育状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ホクレン : 現在、播種・苗立て作業中の段階。 ・JAさが : 年末～年明けにかけての低温・乾燥により、中晩生については微減となる見込み。 ・全農兵庫: 定植作業は順調に進んだ。冬期の低温で昨年より若干草丈が低い傾向であるが、病害虫の発生はなし。

[第12回野菜需給・価格情報委員会資料]

(2) 主産県の月別出荷見通し

単位:トン

団体名	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	計
ホクレン	24年見通し ^{注1}	26,000	2,200	260	140	20,000	48,000	65,000	161,600
	前年比	106%	72%	48%	47%	161%	118%	113%	116%
	3ヶ年平均 ^{注2} 比	94%	69%	67%	70%	119%	109%	112%	107%
JAさが	24年見通し ^{注1}	17,000	22,980	16,080	13,062	10,897	1,454	100	81,573
	前年比	133%	96%	108%	112%	109%	193%	137%	110%
	3ヶ年平均 ^{注2} 比	125%	100%	99%	107%	111%	134%	70%	107%
JA全農兵庫	24年見通し ^{注1}	200	8,000	7,000	11,000	13,000	5,000	2,000	46,200
	前年比	91%	109%	99%	101%	100%	223%	228%	111%
	3ヶ年平均 ^{注2} 比	91%	120%	108%	90%	108%	110%	196%	107%
計 (上記3団体)	24年見通し ^{注1}	43,200	33,180	23,340	24,202	43,897	54,454	67,100	289,373
	前年比	115%	97%	104%	106%	124%	124%	115%	114%
	3ヶ年平均 ^{注2} 比	104%	101%	101%	98%	114%	109%	114%	107%

注1: 3月現在の供給計画「対象県共販計」、「対象市場計」の見込み数量。(確定計画は3月末とりまとめ)

注2: 平成21年～23年の実績より算出。

コメント

昨年の特徴	・4～10月の合計で、主産3県において、直近3ヶ年で最も出荷量少なかった。
出荷見通し	<p>・4月 :ホクレン貯蔵物のシェア高い時期。主産3団体計では出荷り量は前年、直近3ヶ年平均を上回る見込み。 ただし、JAさがについては下方修正の可能性あり。</p> <p>・5～7月 :JAさが、全農兵庫のシェアが高い時期。概ね直近3ヶ年平均並み～やや減を見込む。</p> <p>・8～10月:ホクレンのシェアが高い時期。現時点では、主産3団体計で例年並みの出荷量を見込む。</p>

4. 平成24年産春夏にんじん(4月～7月)の作付面積・生育状況の概要

(1) 作付面積、生育状況の概要

平成24年3月現在

	当初計画(23年9月作成)				3月現在の見通し		生育ステージ			今年の出荷見通し	
	面積		出荷量		出荷量					出荷開始時期と出荷最盛期	期間全体を通した出荷見通し
	計画 (ha)	前年 実績比	計画 (トン)	前年 実績比	計画 (トン)	前年 実績比	播種時期	定植時期	出荷時期		
全農徳島 県本部	980	100%	36,470	93%	39,260	102%	・トンネル: 10/中～1/中	—	・トンネル: 3/上～6/下	時期については、以下の通り 平年並の見込み。 ・出荷開始時期:3/上。 ・出荷最盛期:4/中～下。	期間を通した出荷量は面積 増加に伴い平年比で微増の 見込み。 (計画数量39,260t)
全農千葉 県本部	500	100%	15,150	109%	13,100	94%	・春夏: 12/下～2/下	—	・春夏: 4/下～7/上	・出荷開始時期:平年並みの 4/下となる見込み。 ・出荷最盛期:やや遅れてお り、5/下～6/下となる見込 み。	期間を通した出荷量見込み は、概ね前年・直近3ヶ年平均 並みを見込む。
その他	747	101%	26,273	105%							
対象県 共販計	2,227	100%	77,893	100%							

コメント

作付面積 (3月調査)	<ul style="list-style-type: none"> ・全農徳島:前年比103%。 ・全農千葉:前年比99%。スイカなどからの品目転換が進んでいるものの、高齢化や都市化の影響で微減傾向にある。
生育状況	<ul style="list-style-type: none"> ・全農徳島:年明け以降の低温・干ばつにより、やや遅れ気味で推移している。 ・全農千葉:年内播きは順調であったが、年明け以降は低温、乾燥、降雪等により播種作業が遅れている。12月中旬以降の寒波により生育も遅れている。

[第12回野菜需給・価格情報委員会資料]

(2) 主産県の月別出荷見通し

単位:トン

団体名	項目	4月	5月	6月	7月	計
全農徳島県本部	24年見通し ^{注1}	20,000	17,800	1,450	10	39,260
	前年比	101%	105%	79%	500%	102%
	3ヶ年平均 ^{注2} 比	103%	105%	92%	176%	103%
全農千葉県本部	24年見通し ^{注1}	300	2,800	8,000	2,000	13,100
	前年比	89%	97%	94%	91%	94%
	3ヶ年平均 ^{注2} 比	65%	94%	102%	101%	99%
計 (上記2団体)	24年見通し ^{注1}	20,300	20,600	9,450	2,010	52,360
	前年比	101%	104%	92%	92%	100%
	3ヶ年平均 ^{注2} 比	102%	103%	100%	101%	102%

注1: 3月現在の供給計画「対象県共販計」、「対象市場計」の見込み数量。(確定計画は3月末とりまとめ)

注2: 平成21年～23年の実績より算出。

コメント

昨年の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・4月 : 直近3ヶ年で最も多い出荷量となった。 ・6～7月: 直近3ヶ年で最も多い出荷量となった。
出荷見通し	<ul style="list-style-type: none"> ・4～5月: 徳島のシェア高い時期。出荷量は直近3ヶ年平均比で微増を見込む。 ・6月 : 千葉のシェア高い時期。全農千葉は出荷量は直近3ヶ年平均並みを見込んでいる。 ・7月 : 青森のシェア高い時期。現時点では平年並みの作付け面積を見込んでいる。

5. 平成24年産春はくさい(4月～6月)の作付面積・生育状況の概要

(1) 作付面積、生育状況の概要

平成24年3月現在

	当初計画(23年9月作成)				3月現在の見通し		生育ステージ			今年の出荷見通し	
	面積		出荷量		出荷量					出荷開始時期と出荷最盛期	期間全体を通した出荷見通し
	計画	前年	計画	前年	計画	前年					
	(ha)	実績比	(トン)	実績比	(トン)	実績比	播種時期	定植時期	出荷時期		
全農茨城	185	100%	15,500	91%	16,300	96%	・極早生、早生: 11/中～1/中 ・中生: 1/上～2/下 ・晩生: 2/上～3/中	・極早生、早生: 12/下～2/下 ・中生: 2/上～3/下 ・晩生: 3/上～4/中	・極早生、早生: 3/上～4/中 ・中生: 4/中～5/下 ・晩生: 5/下～6/中	・出荷開始時期:3/中からとなる見込み。 ・出荷最盛期:5/上～中となる見込み。	前年はやや下回るものの(96%)、直近3ヶ年平均を上回る(114%)出荷を見込む。
全農長野	340	103%	16,850	117%	16,913	117%	2/中～4/中	3/下～5/上	5/下～6/下	陽気しだいで前進・遅れが顕著な時期であるので、今後の気象しだい。 ・出荷開始時期:5/下から ・6/中より数量がまとまってい	今後の気象経過によるが、平年並みの気温経過になることを想定して、前年比117%、直近3ヶ年平均比109%を見込む。
その他	166	101%	5,246	102%							
対象県共販計	691	102%	37,596	103%							

コメント

作付面積 (3月調査)	・全農茨城:前年比100%。 ・全農長野:前年比103%。一部は7月作を抑制するための前倒しもある。
生育状況	・全農茨城:早い作型のもの、生育期の低温・干ばつの影響により、遅れが生じている。晩生については現在定植中。 ・全農長野:これまでの低温傾向により、圃場準備が若干遅れている地域はある。しかし準備が本格化するのは3月以降なので全体への影響は少ない。

[第12回野菜需給・価格情報委員会資料]

(2) 主産県の月別出荷見通し

単位:トン

団体名	項目	4月	5月	6月	計
全農茨城県本部	24年見通し ^{注1}	6,000	8,000	2,300	16,300
	前年比	89%	103%	90%	96%
	3ヶ年平均 ^{注2} 比	109%	120%	112%	114%
全農長野県本部	24年見通し ^{注1}	0	673	16,240	16,913
	前年比	0%	119%	117%	117%
	3ヶ年平均 ^{注2} 比	0%	85%	109%	108%
計 (上記2団体)	24年見通し ^{注1}	6,000	8,673	18,540	33,213
	前年比	89%	104%	113%	106%
	3ヶ年平均 ^{注2} 比	109%	116%	109%	111%

注1:3月現在の供給計画「対象県共販計」、「対象市場計」の見込み数量。(確定計画は3月末とりまとめ)

注2:平成21年～23年の実績より算出。

コメント

昨年の特徴	・4～5月:直近3ヶ年で最も多い出荷量となった。
出荷見通し	・4～5月:茨城のシェア高い時期。遅れている3月出荷予定と重なる可能性があるため、直近3ヶ年平均を上回る出荷量を見込んでいる。 ・6月 :長野のシェアが高い時期。今後の天候によるが、平年並みの気温経過になると想定して、前年比117%、直近3ヶ年平均比109%を見込む。

6. 平成24年産春レタス(4月～5月)の作付面積・生育状況の概要

(1) 作付面積、生育状況の概要

平成24年3月現在

	当初計画(23年9月作成)				3月現在の見通し		生育ステージ			今年の出荷見通し	
	面積		出荷量		出荷量					出荷開始時期と出荷最盛期	期間全体を通じた出荷見通し
	計画	前年	計画	前年	計画	前年					
	(ha)	実績比	(トン)	実績比	(トン)	実績比	播種時期	定植時期	出荷時期		
全農茨城県本部	640	100%	15,250	117%	14,000	107%	・3～4月どり: 10/下～12/下 ・5月どり: 1/上～2/中	・3～4月どり: 11/下～2/上 ・5月どり: 2/中～3/下	・3～4月どり: 3/上～4/下 ・5月どり: 5/上～5/下	・出荷開始時期: 平年並みに2/中からとなっている。 ・出荷最盛期: 3/中からとなる。	3月出荷分の生育が遅れたことにより、4月はやや増加するものの、5月は他品目(ねぎ等)の作業との兼ね合いで減少傾向となっている。 トータルするとやや減の見通し。
全農長野県本部	505	101%	10,673	103%	10,400	100%	1/中～3/下	2/下～4/中	4/中～5/下	今後の気温により、遅れの解消もあり得るが、現時点では出荷開始直後は出荷少なめ、5/中より急激にまとまるパターンとなる可能性あり。	概ね昨年並みを見込んでいる。
全農兵庫県本部	454	105%	9,942	108%	9,752	105%	・トンネル: 12/中～1/中 ・露地(被覆): 1/中～2/中	・トンネル: 1/中～3/上 ・露地(被覆): 3/上～4/上	・トンネル: 4/上～5/上 ・露地(被覆): 5/上～下	天候が安定すれば、平年並みの出荷となる見込み。	4月以降の収量が安定すれば出荷量は前年、直近3ヶ年平均を上回る見込み。
その他	622	106%	11,614	111%							
対象県共販計	2,221	103%	47,479	110%							

コメント

作付面積 (3月調査)	<ul style="list-style-type: none"> ・全農茨城: 前年比100%。 ・全農長野: 前年比101% ・全農兵庫: 前年比100%
生育状況	<ul style="list-style-type: none"> ・全農茨城: 1～2月の干ばつ・低温により生育が遅れている。 ・全農長野: 降雪、低温の日が続き、全般に作業は遅れている状況。 ・全農兵庫: 低温・干ばつの影響から生育は遅れ気味も、最近の降雨で干ばつは解消へ。生育・作柄は今後の気温次第。

[第12回野菜需給・価格情報委員会資料]

(2) 主産県の月別出荷見通し

単位:トン

団体名	項目	4月	5月	計
全農茨城県本部	24年見通し ^{注1}	9,500	4,500	14,000
	前年比	107%	108%	107%
	3ヶ年平均 ^{注2} 比	106%	97%	103%
全農長野県本部	24年見通し ^{注1}	200	10,200	10,400
	前年比	85%	101%	100%
	3ヶ年平均 ^{注2} 比	65%	101%	100%
全農兵庫県本部	24年見通し ^{注1}	6,045	3,707	9,752
	前年比	105%	106%	105%
	3ヶ年平均 ^{注2} 比	111%	104%	109%
計 (上記3団体)	24年見通し ^{注1}	15,745	18,407	34,152
	前年比	106%	103%	105%
	3ヶ年平均 ^{注2} 比	107%	101%	104%

注1:3月現在の供給計画「対象県共販計」、「対象市場計」の見込み数量。(確定計画は3月末とりまとめ)

注2:平成21年～23年の実績より算出。

コメント

昨年の特徴	<ul style="list-style-type: none"> -4月:直近3ヶ年平均並みの出荷量となった。 -5月:直近3ヶ年平均を下回る出荷量となった。
出荷見通し	今後の天候推移を平年並みと仮定すれば、これまでの遅れ分が4月以降出荷されることから、前年、直近3ヶ年平均を上回る出荷量となる見込み。